

雨や水が染込むとコンクリートは中性化し、内部の鉄筋や配管には錆が発生し、寒冷地では凍結による 破壊が起こります。防水の方法として過去からアスファルト、シート、ウレタン等いろいろ変遷がありま すが、どれも大掛かりな工事とそれに見合う費用と専門道具、知識が必要です。かといってメンテナンス フリーと言うわけにはいかず、何年か毎に補修と改修が必要で、そのたびに大掛かりな工事とそれに見合 う費用が必要になります。

ビソーコートはそれらに比べると非常に簡単に施工できます。しかしその性能はウレタン防水に比べ劣る ものではなく、水性でありながら、充分に乾燥した塗膜はウレタン防水材よりも水を吸収しません。

## 特長

水性で安全。シンナーを含まないため中毒や引火の危険がありません。 一液性で施工が簡単。混合工程が不要だから混合不良の問題がありません。 耐候性に優れています。化学組成からウレタンよりも耐紫外線性に優れています。

### 性状

外 勧	見	粘ちょう液体	
粘	Ŧ	25000	B M型回転粘度計
比重	Ē	1.40	
不揮発分	ì	70	110 、24 時間放置
貯蔵安定性		異常無し	冷暗所 1 年保管後確認

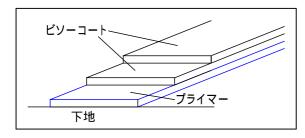
## 用涂

ベランダ、テラス、バルコニー、屋上フロア、外壁、ブロック、モルタル、コンクリートの美装、防水

## 性能

項目	ビソーコート	試験方法
付着性	10 (剥離無し)	モルタル板、23 で7日間養生後、碁盤目にカットし、 粘着テープを貼り付けて引き剥がし、剥がれを確認す る。
付着性 (浸水後)	10 (剥離無し)	塗布し24時間乾燥後、7日間水中に浸漬したものを上記と同様に評価する。
耐水性	異常なし	塗布し24時間乾燥後、7日間水中に浸漬したを確認する。
耐屈曲性	合格	軟鋼鈑に塗布し、7日間乾燥後、屈曲試験(2mm)
吸水率	3.1 %	7日乾燥塗膜を 14 日間浸水し、重量変化を測る。
耐アルカリ性	3.0 %	吸水率と同様に 0.1%NaOH 水溶液に Ca(CO)3 を飽和 させた溶液中に 7 日間浸漬後、重量変化を測る。
透水量	0.1 ml	14 日乾燥させた塗膜の上に 250mm の水柱をたて、24 時間後塗膜に浸透して減量した水量を測る。
	0.1 ml	上記と同様に28日後の減水量を測る。
引張強さ	120 N/cm <sup>2</sup>	引張速度 200mm/min
伸び	480 %	引張強さ測定時の漂線間の伸び
下地接着力	170 N/cm <sup>2</sup>	モルタルに塗布し、10 日間養生後冶具を取り付け鉛直 方向に引張り、強度を測定する。
耐候性	異常なし	サンシャインウェザーメーター2000 時間

# 施工仕様



### 施工仕様

左図のようにプライマーを塗布した上にビソーコート2 回塗りが標準です。

### その他

補強および立上がり部分等の割れ防止のために1回ビソーコートを塗布した後、乾燥前に不織布等を敷 き、歩行できる程度に乾燥した後2回目のビソーコートを塗布する工法も可能です。

# ビソーコートの施工 下地が何か。傷み、汚れの状況。新設コンク 事前調査 リートの場合の養生期間等 十分に乾燥したビソーコートはウレタン防水材よ も優れた耐水性、耐候性を有しますが、その特性 を活かすには、下地の処理が最も大切です。 次ページの表を参考に下地の調整をしてください。 下地処理 古い塗膜、シートおよび傷んだ部分は取り除く 水分は乾燥させる。 ひび割れ等はシーリング材を埋める 下地が何かわからない場合、実際に少量塗布してみて 確認試験 密着、汚染等を確認します。 ごみ、ほこり、汚れ、油分等を除去する。 下地清掃 水分は乾燥させる。 古い塗膜、シート等は取り除く マスキングテープ、シート、新聞などでカバーする。 マスキング プライマー 刷毛やローラーで塗布0.1~0.2kg/m2 乾燥30分程度(天候により変わります。) 塗布 プライマーは下地との濡れを良くして、気泡を 巻きこみ難くし、密着をアップする。 ビソーコート 刷毛、ローラーで塗布。2回塗り。塗布量 塗布 約2kg。塗装間隔約2時間 充分な強度が出るためには3~7日かかります。そ 養生 れまで傷めないようにしてください。



# Technical Information

下地	調整方法	
新設モルタル	2~3週間の養生 レイタンス、ほこり等の除去 出来れば水洗いして、良く乾燥させ る。	新設のモルタル、コンクリートはアルカリ性が強く、塗膜を汚染します。 表面のレイタンスは接着阻害の要因となります。
旧モルタル	弱っている部分は除去して補修する。 凹凸は平らに均し、雨が溜まらずに流 れるようにする。 油分、汚れ、埃などは取り除く。 出来れば水洗いして、良く乾燥させ る。	下地が弱っていると下地ごと浮き上がります。 雨が溜まる部分は内部劣化が進んだり、表面に埃などが残っている可能性 が高い。また、塗膜に雨が染込み接着破壊や塗膜を傷つけることがある。 油分があると接着しません。
スレート	油分、汚れ、埃などは取り除く。 出来れば水洗いして、良く乾燥させ る。	新設の場合は2週間ほどしてから塗布してください。
トタン	トタン施工から 1 ヶ月以上経過していること。 傷んだ部分は事前に補修し、防錆処理をしておくこと。 油分、汚れ、埃などは取り除く。	新しく葺いたトタンは表面が安定していません。 防錆処理はビソーコートに影響を与えないものを選んでください。
旧塗装面	傷んだ部分は除去する。 しっかりした塗膜でも劣化した部分 がある場合、劣化部分を除去し、その 他の部分も良く診断する。 事前に密着性、その他の影響を確認す る。	ワイヤーブラシ、ケレン、清掃溶剤等で劣化した部分を除去してください。



# Technical Information

### 施工上の注意

### プライマー塗布

溶剤型の P - 1 1 と水性のビソー水性プライマーがあります。金属、タイル、その他水をはじいてしまう下地には溶剤系をお使い下さい。塗布量: 0.1 ~ 0.2kg/m² その日のうちにビソーコートを塗布してください。

### ビソーコート塗布

コーナー部等は刷毛で、その他はローラーで塗布してください。 2 回塗り。塗装間隔は 2 時間程度。標準塗布量: $2kg/m^2$ 

不織布等をサンドウィッチすることで補強する工法も可能です。

### 後処理

マスキングを剥がします。充分な接着力が発揮されていないこととビソーコートの塗膜が強いためマスキングとともに剥がれてきますのでカッターで切れ目を入れながら作業します。 使用した刷毛、ローラー等は乾燥するまでに水洗いしてください。 P - 1 1 に使用した刷毛等はシンナーで洗ってください。

#### 養生

少なくとも1日は雨にあたらないようにしてください。2~3 日は底の固い靴等で歩くことはできるだけ避けてください。

3~7日程度は重いものを乗せないで下さい。

#### 注意事項

5 以下での施工は避けてください。

施工後6時間以内に降雨の恐れがあるときには施工しないで下さい。

良く攪拌してご使用下さい。

冷暗所に保管してください。

塗布量が少ないと充分な性能が発揮されません。使用方法を守ってください。

子供の手の届かないところに保管してください。

食品に直接触れる用途には使用しないで下さい。

色 :グレー、グリーン

包装: 18kg缶、3kgポリ容器(4缶/ケース)